

# 協メカ力管

## 一般社団法人に移行

### 設立総会 技術開発に注力

全国水道管内カメラ調査協会(杉戸大会長)は5月24日、東京・千代田区のホテルニューオータニで一般社団法人としての設立総会を開いた。同協会の一般社団法人への移行は、設立5周年を迎え、工法も全国的に採用されることになったことを受け、一層の社会的信用の獲得、活動内容の充実を目指して行ったもの。昨年10月19日に松山市で開催した第5回臨時総会で移行の方針を決議。以来、今年4月1日の移行を目指し事務局が中心となって手続きを進めてきた。法人化を実現した今年度は、水道技術研究センターのプロジェクトと歩調を合わせるなどとして、一層の技術研鑽に努める計画。



多数の聴講者で埋まった講演会場



小泉教授



杉戸会長

一般社団法人管カメ協会の設立に際し、杉戸会長がいさつ。「東日本大震災では、水道管路も多くの被害を受けた。その中で、協会が保有している技術は調査に貢献でき、調査で得られた情報は市民等への情報公開、引いては適正な更新計画の策定にも繋がる。今回の法人化を契機に、さらに社会的信用を増大させていく所存だ」と話した。

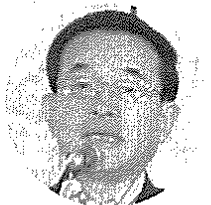


石飛課長

昨年度は、日水協大阪会館で「第1回水道技術・工



藤原理事長



御園専務理事

科学研究所の小泉明教授は、過去9年間、水道技術

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

法人化を受け今年度は、実機カメラによるPRデモを全国で2回開催。日水協各支部でも要望に応じ説明会や調査実演等の実施に

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

メタウォーター

### 社長に木田氏内定 松木氏は会長へ

メタウォーターは5月30日、取締役会を開き、社長に木田友康(富士古河E&C代表取締役社長)が就任する人事を内定した。

▽代表取締役会長(代表取締役社長) 松木晴雄▽代表取締役社長(富士古河E&C代表取締役社長) 木田友康

▽取締役(非常勤) (富士古河E&C代表取締役社長) 木田友康

現社長の松木晴雄氏は代表取締役会長に就任する。6月23日開催予定の定時株主総会および取締役会において正式に決定する予定。関連人事は次の通り。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。

研究会」を開催し、水道事業体でデモンストレーションも実施した。機関誌「管カメNews」も2回発行した。



木田次期社長

土電機執行役員)菅井賢三(退任)▽小牧裕志(代表取締役副社長)▽富士電機取締役執行役員専務(取

メタウォーター

### 石巻市で造水開始

#### 災害復旧支援の一環